

周作クラブ会報

(第84号)
2021年8月25日発行

周作クラブ

◆主な記事◆

周作忌
周作クラブ総会のお知らせ
オンライン懇親会の報告
原稿発掘
連載・樹座の30年②
遠藤周作文学館便り
周作クラブ長崎便り
会員寄稿
お知らせ欄

8 7 6 5 4 3 2 1
面面面面面面面

報告——オンライン懇親会

今だからこそ、初のオンライン・イベント リモート初体験の参加者も加わって

「飲み物と、お気に入りの遠藤周作の一作と共に楽しいひとときを過ごしませんか」と第83号会報で呼びかけた初の企画「オンライン懇親会」が、7月3日の午後、開催された。参加者は日本全国から集まった21名。リモート体験が初めてという会員もふくめ、ソーシャル・ディスタンスもマスクも必要のない、和やかな2時間となった。

周作クラブ初の試みであるリモートによる懇親会は、7月3日(土) 14時からZoomアプリを利用して行われた。周作クラブとしては、昨年の新年会以来、1年半ぶりのイベントになる。当日は開始時刻の10分前から続々とディスプレイに参加メンバーの顔が映し出され、あっという間に21名が集会。初参加・リモートを含め、日本各地から会員たちが枠に揃った。

司会を、会報副編集長の亀岡園子さんが担当。「ディスプレイのもう一つの枠に遠藤先生がいらっしやると思っています。はじめよう」との言葉で開会。

はじめの挨拶は、会員管理担当幹事の宮辺尚さん。「周作クラブは2000年の7月に発足したので、偶然ですが、今日の会はちょうど21年目に入ったところでの集まりになりました」

当初は400人ほどの会員で発足し、

一時は500人を超えることもあったが、現在は約370人。しかし、没後25年たった今でも入会希望が続いている、というさらに、「直接顔を合わせることが難しい今ですが、まさに三密となってしまうような、皆で賑やかに集まるのが大好きな遠藤先生がご存命だったら、どうしたでしょうか。つらかったらどうか。それでも何かうまいことを考えて教えてくださいませんか。皆さん、考えてみて下さい」と問いかけた。

その後、宮辺尚さんの音頭で各自準備していた飲み物での乾杯となった。

ゲスト、会員たちの談話

最初のスピーカーは、特別参加のユスチナ・カシヤさん。ポロランド出身であるカシヤさんの専門分野は現代日本文学で、現在は福岡の西南学院大学外国語学部で、グローバルスタディズの立場から、

没後25年「周作忌」のご案内 ——今年はお会場参加&リモートで

新型コロナウイルス感染症防止のためには昨年中止となった周作忌を、今年度は慶應義塾大学の「三田文学」と共催で、会場参加&リモートというハイブリッド方式で行ないます(社会の状況によっては会場への入場者数は制限される可能性があります)。初めての試みですが、今年はおく没後25年という年度でもあり、なんととしても偲ぶ集いを開催したいと考えました。会場となる場所も、日時も、申込方法も例年とは異なりますので、なにとぞご注意ください。

日時 10月2日(土)

15時から16時30分まで

場所 慶應義塾大学三田校舎内・東館6階 G-Lab

(港区三田2の15の45)

会費 無料

(今年はお食事はありません)

■内容

・長崎市遠藤周作文学館を中継で結び始まったばかりの企画展「母をめぐる旅―沈黙―から『侍』へ」の内容・こぼれ話を映像を含めて紹介する。
・遠藤周作と三田文学／加藤宗哉・劇団「樹座」について／宮辺尚

■申込方法

リモート参加をご希望の方は下記の「周作クラブ・メールアドレス」までお申込みください。当日までにリモートへ参加するための

URLをお送りします。また、会員がお会場参加をご希望の方は同封の「総会&周作忌」(ともに9月16日締切) 出欠ハガキでお申込みください。

なお、会員以外で会場参加をご希望の方は、お手数でもハガキで左記連絡先へ、9月10日までにお申し込みください。追ってご連絡さしあげます。

◆主催・遠藤周作忌実行委員会／周作クラブ／三田文学会

【連絡先】世田谷区上馬4の29の17 加藤宗哉事務所内・周作クラブ(加藤)

◆周作クラブ・メールアドレス
Shusaku_club@yahoo.co.jp

年度の定時総会について

今年の第21回周作クラブ総会は、人との接触機会の軽減をはかる観点から、可能な限り少人数での会を目指しています。そこで会員の皆さまには「委任状による総会参加」をお願いしております。同封のハガキの「委任状」の項にご署名・捺印のうえ、9月15日までにご返送くださるようお願い申し上げます。なお、今年度の総会開催の日時・会場等は以下の通りです。

▽10月2日(土) 13時から14時まで
会場は、慶應義塾大学三田校舎内・東館6階 G-Lab。